

経営比較分析表（令和6年度決算）

長野県 木祖村

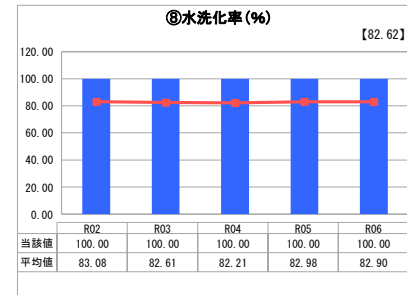
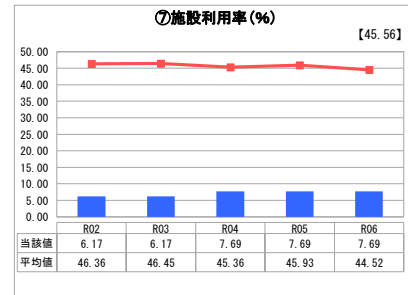
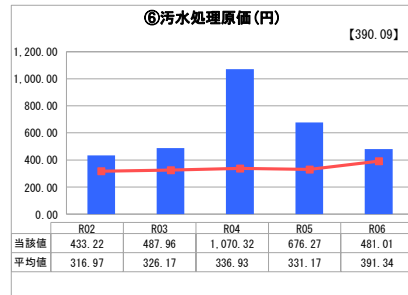
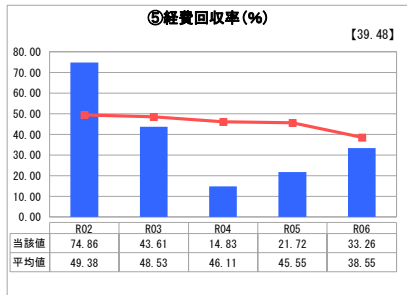
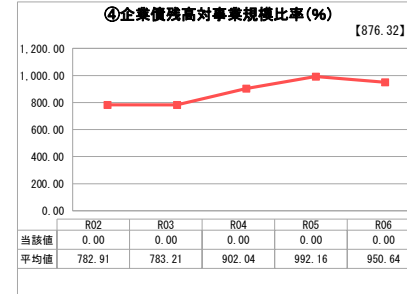
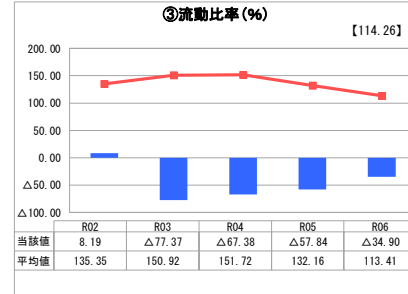
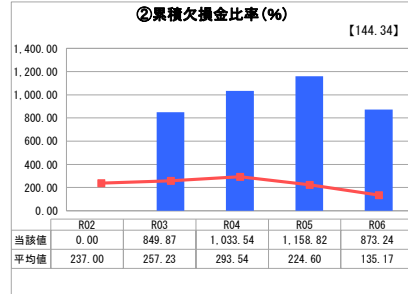
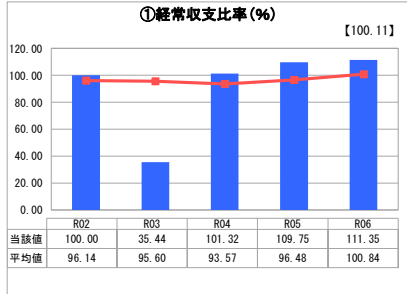
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	△100.70	0.64	100.00	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,516	140.50	17.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
16	0.02	800.00

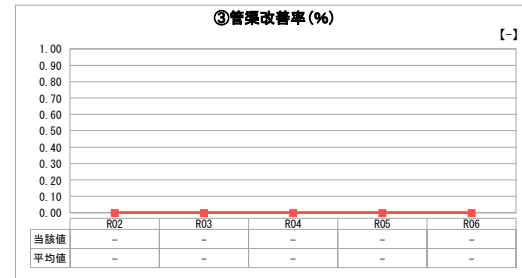
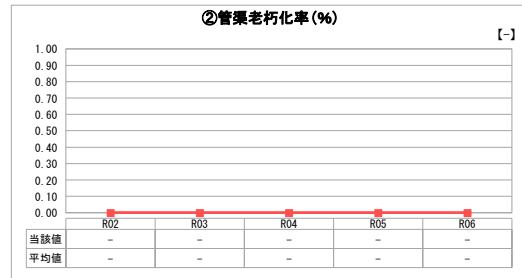
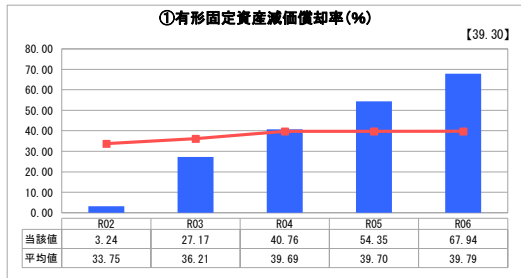
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を超えており、数値上は健全経営と言える。
 ②累積欠損金比率が下がり、当該年度は前年度に比べ健全経営だったと言える。令和9年度より料金改定(増額)を予定しているため、更なる減少が期待できる。
 ③流動比率は類似団体平均値を下回りマイナスとなった、これは企業債の償還に係る現金の不足を他会計繰入金でまかなっているが他会計繰入金で不足したためと考えられる。
 ④経費回収率については、②と同じ理由により、回収率が平均を下回ったと考えられる。
 ⑤汚水処理原価が類似団体の平均より高い理由として、設置している浄化槽に大型のものが多く、維持管理費が通常の浄化槽より高いためであると考えられる。
 ⑥施設利用率が類似団体の平均より低い理由は、この処理区がスキー場に隣接しており、加入者の多くは民宿を営んでいることから大型の浄化槽を設置しているが、普段は一般家庭程度しか使用しないためであると考えられる。
 ⑦水洗化率は100%であり類似規模団体の平均を上回っているが、予想される人口減少に伴う処理区内人口の減少が見込まれることから、施設利用率は減少していくことが予想される。

2. 老朽化の状況について

現在、浄化槽の点検や清掃の際に修繕の必要な箇所は修繕を行っており、浄化槽の使用年数や使用状態がそれぞれ異なるため、全体的な修繕計画は予定していない。

全体総括

将来的に人口、有収水量の減少等でサービス需要の減少するのに対して、老朽化施設の更新による起債残額の増加により厳しい経営状況となる。近年の物価高騰で営業費用が増加している中で今年度は経営戦略の改定を行い、次年度以降で下水道使用超過料金の改定を予定。更なる経営の健全化になるよう努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和6年度決算）

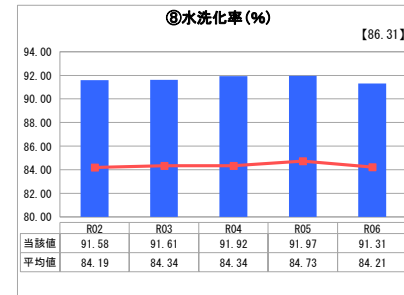
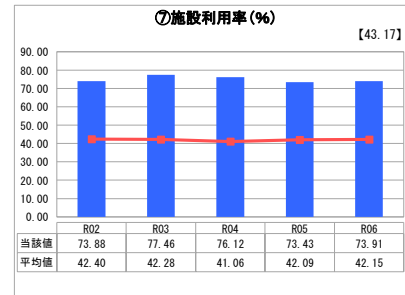
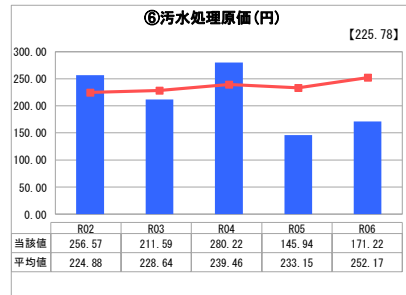
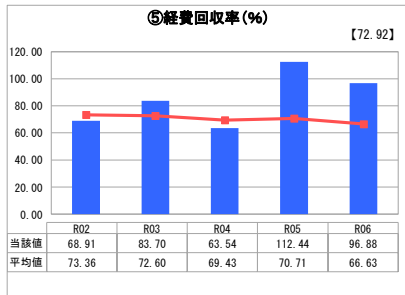
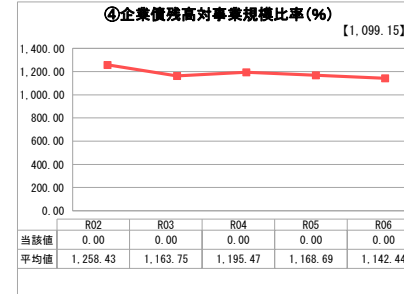
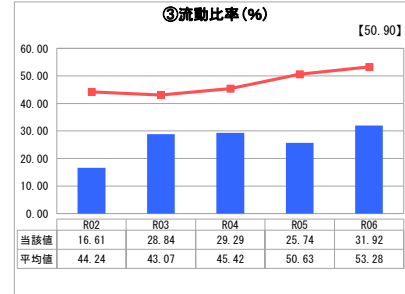
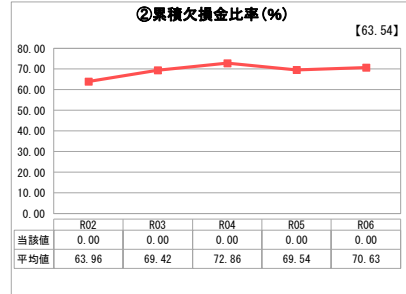
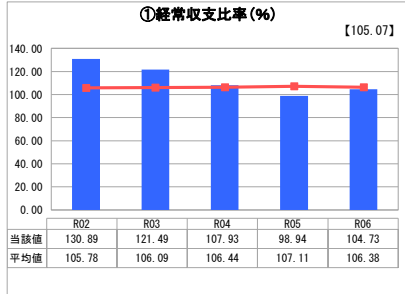
長野県 木祖村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	70.76	66.84	98.65	3,300

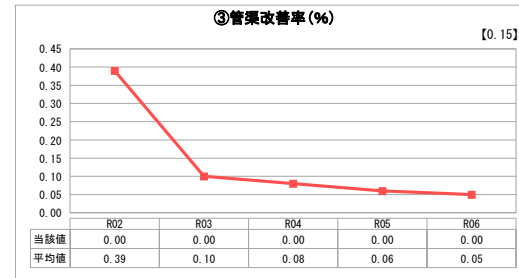
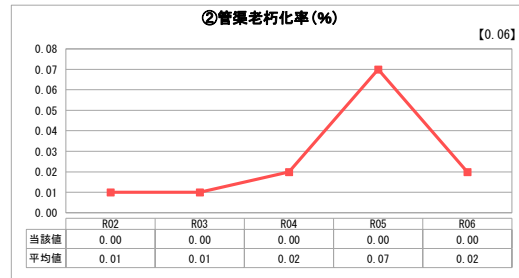
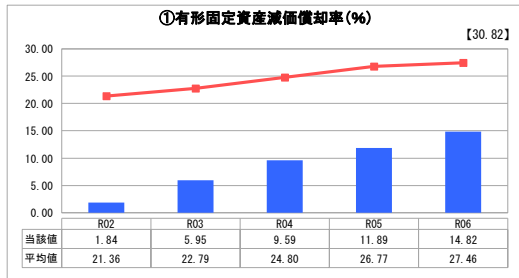
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,516	140.50	17.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,669	0.73	2,286.30

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%を上回ったが、平均以下となった。平均を上回るよう経営改善を図ってきたい。
- ② 累積欠損金比率は0%となっており、健全経営と言える。
- ③ 流動比率は類似団体平均値を下回っており、企業債の償還に係る現金の不足を他会計繰入金でまかなっているためと考えられる。
- ④ 経費回収率については、100%を超えており、類似団体の平均も上回っているため、健全な運営といえる。
- ⑤ 汚水処理原価については平均を下回っており、今後はさらなる経営改善を図っていく。
- ⑥ 施設利用率は約8割と類似団体の平均を上回っており、現状の水洗化率からすると施設規模に対してほぼ適正な水準と言える。
- ⑦ 水洗化率は約9割と類似規模団体の平均を上回っているが、新規加入は頭打ちとなっており、予想される人口減少に伴う処理区内人口の減少が見込まれることから、施設利用率は減少していくことが予想される。

2. 老朽化の状況について

供用開始から24年が経過している。管渠については耐用年数が約50年と言われているが、マンホールポンプや処理場については、令和元年度から令和4年度に実施した長寿命化計画により、電気系の改築を実施し、事故の未然防止、ライフサイクルコストの削減を図った。

全体総括

将来的に人口、有収水量の減少等でサービス需要の減少するのに対して、老朽化施設の更新による起債残額の増加により厳しい経営状況となる。近年の物価高騰で営業費用が増加している中で今年度は経営戦略の改定を行い、次年度以降で下水道使用超過料金の改定を予定。更なる経営の健全化になるよう努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和6年度決算）

長野県 木祖村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家賃料(円)
-	24.04	21.47	100.00	3,300

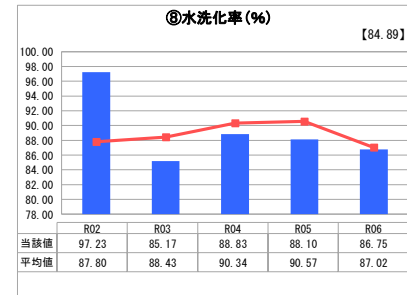
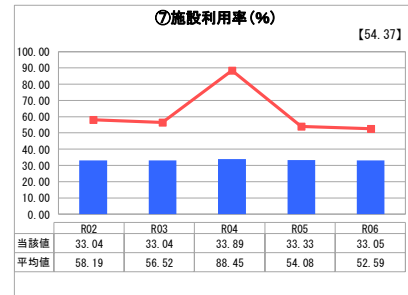
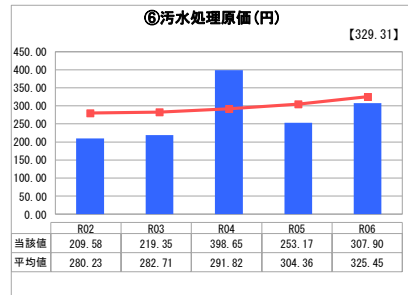
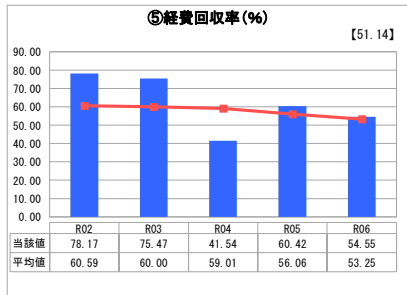
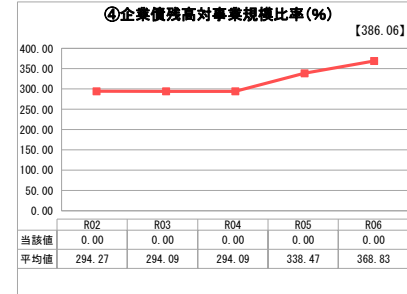
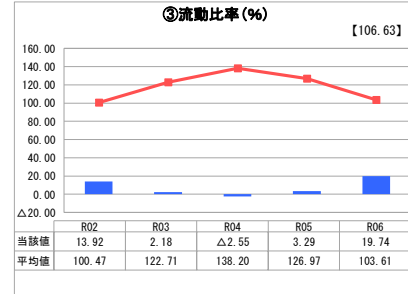
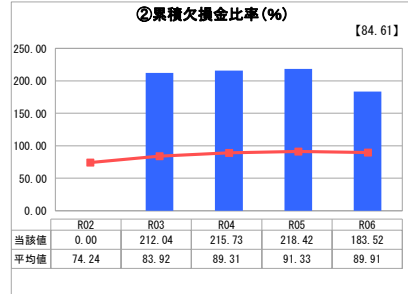
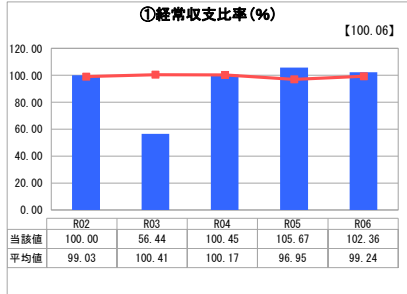
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,516	140.50	17.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
536	0.13	4,123.08

グラフ凡例

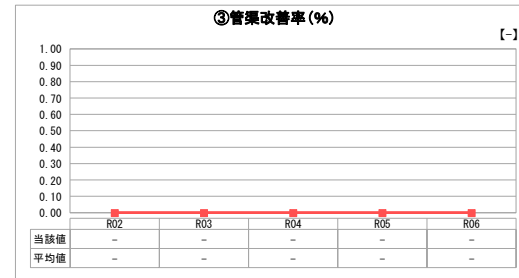
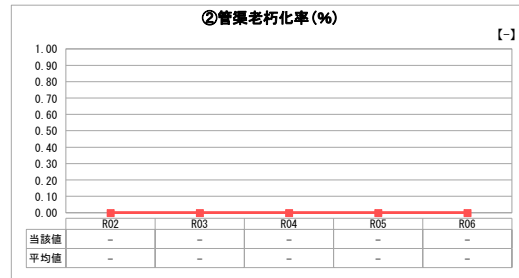
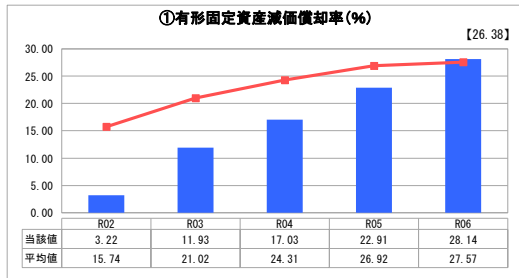
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%と平均を超えており、健全な経営と言える。
- ② 累積欠損金比率は平均より高いが、前年度に比べ減少した。今後は、料金改定(増額)を予定しているため、更なる減少が期待できる。
- ③ 流動比率は類似団体平均値を下回っており、企業債の償還に係る現金の不足を他会計繰入金でまかなっているためと考えられる。
- ④ 経費回収率については平均を上回っているが、さらなる改善が必要となってくる。
- ⑤ 汚水処理原価が類似団体の平均を下回っており健全な経営となっている。
- ⑥ 施設利用率が類似団体の平均を下回っている理由は、浄化槽の人員算定が延べ床面積を基準に算定することや、過疎化により浄化槽設置当時より浄化槽使用人数が減ったことによるものと考えられる。
- ⑦ 希望者に浄化槽を設置しているが、金銭等の理由により未設置者がいるため平均を下回っている。

2. 老朽化の状況について

現在、浄化槽の点検や清掃の際に修繕の必要な箇所はその都度修繕しており、浄化槽の使用年数や使用状態がそれぞれ異なるため、全体的な修繕計画は予定していない。

全体総括

将来的に人口、有収水量の減少等でサービス需要の減少するのに対して、老朽化施設の更新による起債残額の増加により厳しい経営状況となる。近年の物価高騰で営業費用が増加している中で今年度は経営戦略の改定を行い、次年度以降で下水道使用超過料金の改定を予定。更なる経営の健全化になるよう努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和6年度決算）

長野県 木祖村

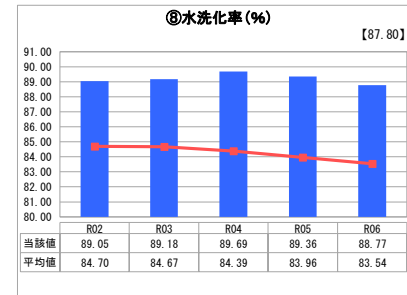
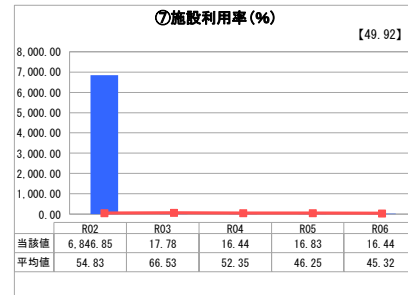
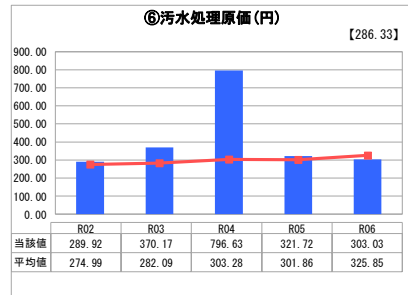
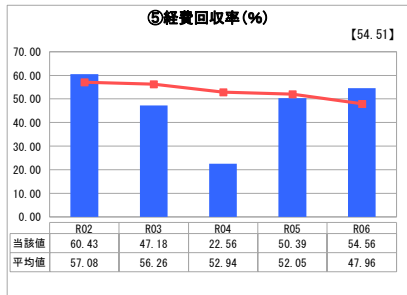
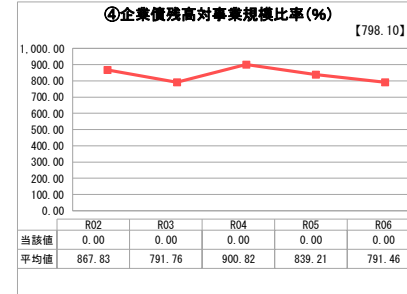
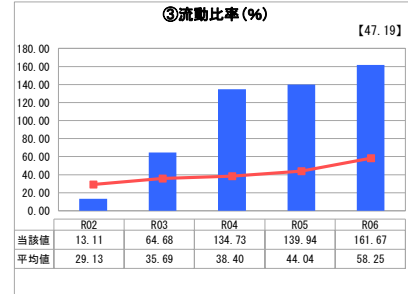
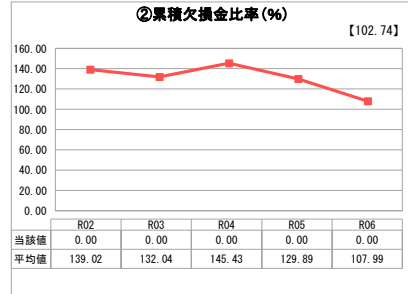
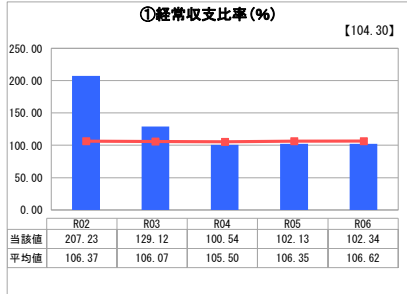
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)
-	88.63	11.05	87.37	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,516	140.50	17.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
276	0.18	1,533.33

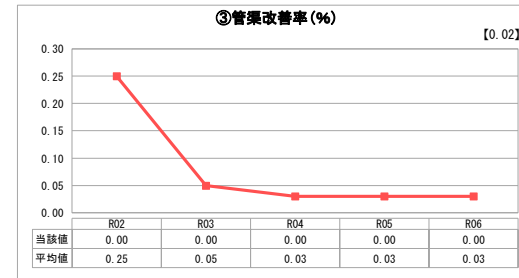
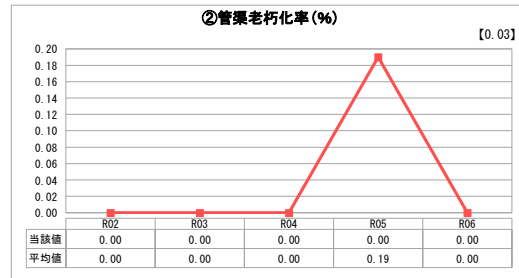
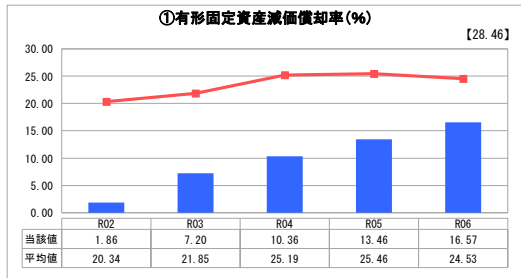
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%を超えており、数値上は健全経営と言える。しかし、一般会計繰入金に頼る経営となっているため改善が必要である。
- ② 累積欠損金比率は0%となっており、健全経営と言える。
- ③ 流動比率は類似団体平均値を上回っているのは企業債の償還に係る現金の不足を他会計繰入金でまかなっているためと考えられる。
- ④ 企業債残高対事業規模比率について、大きな公共工事を実施していないことから企業債は、年々減少傾向である。
- ⑤ 経費回収率については、前年度比較、平均のどれも越しており、健全な経営となったと言える。
- ⑥ 汚水処理原価は、前年度比、平均より下回り改善したと言える。
- ⑦ 施設利用率は、処理区域内にスキー場を有しているが、利用者が減ってきているため、右肩下がり利用率が減少していると思われる。
- ⑧ 水洗化率については、現在類似団体の平均を上回っているが、新規加入が増える見込みが立っていない。そのため、経費を抑え、料金の改定等を踏まえ経営をしていかなければならない。

2. 老朽化の状況について

- 供用を開始してから25年を経過しているため、施設の老朽化が進んでおり、今後機能強化を実施し施設の長寿命化を図る必要がある。
平成25年度に行った最適整備構想の機能診断から10年を経過しているため、再度機能診断を行い、改築の計画を立てていく必要がある。

全体総括

将来的に人口、有収水量の減少等でサービス需要の減少するのに対して、老朽化施設の更新による起債残額の増加により厳しい経営状況となる。
近年の物価高騰で営業費用が増加している中で今年度は経営戦略の改定を行い、次年度以降で下水道使用超過料金の改定を予定。更なる経営の健全化になるよう努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。